



東京バッハ合唱団 野尻湖 2017

BACH-CHOR, TOKYO

Collaboration with colleagues on the shore of Lake Nojiri
in Shinanomachi, 2017

長野県・信濃町ご近所の皆さん、野尻湖周辺の避暑客の皆さんとの“コラボ”

ことしもお邪魔します、東京バッハ合唱団です。ここ野尻湖での、私どもの夏の合宿は半世紀以上の歴史を刻みます。信濃町の市民のみなさんとの協働作業、野尻湖公民館でのワークショップは、昨年ひきつづき第2回目を準備しています(8月4日)。翌日は、神山国際村オーデトリウム(神山教会)でのコンサート(8月5日)、今年で第42回目を迎えます。“日本語でバッハを歌う”、“日本語のバッハを聴く”。この感動を、ひとりでも多くの音楽ファンにお届けできたら、と願っています。

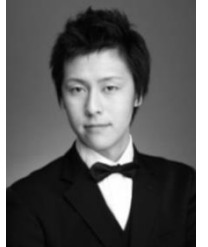
……コラールを素材に、混声4部合唱の体験

◆ワークショップ“日本語でバッハ”第2回

8月4日(金)、午後6時30分-8時30分(6時開場)

[会場] 野尻湖公民館(信濃町公民館野尻湖支館) 駐車場あり(裏面地図)

[指導] 山本悠尋(声楽家・バリトン)、鈴木真帆(伴奏者、ピアニスト)



▲YAMAMOTO Yukihiro, baritone

今年も、バッハのコラールに親しんでいただきます。
カンタータ《目覚めよと呼ばる 物見らの声高し》BWV 140
の中の有名なコラール(フィリップ・ニコライ作、全3節)を
素材に、日本語の歌詞による4声部の合唱体験に挑戦します。

各声部の音取りから丁寧に練習、初心者の方もがんばってま
しょう。2回目となる今年は、ちょっと時間をかけて混声4部
合唱の響き、バッハ特有の優しさに満ちたハーモニーを作り上
げてみる予定です。コピー楽譜を配布します。

<仕上げのコンサート>

- ・コラール第1節《目覚めよと呼ばる》BWV 140/1(合唱編曲)……東京バッハ合唱団
- ・コラール第2節《物見らの声に》BWV 140/4(斉唱)……野尻湖2017 祝祭合唱団(W S参加者全員)
- ・コラール第3節《グロリア 主を讃えん》BWV 140/7(4声部合唱)……野尻湖2017 祝祭合唱団

●ワークショップご参加[参加費無料]: 事前にお申し込みください。

[申込み方法] 電話/ファックス/メール等で、8月2日までに、事務局(下記)へ。①お名前、②ご住所、③連絡先電話番号・メールアドレス、④人数、を明示。●見学のみのご来場も歓迎します。見学は事前の申し込み不要。▲SUZUKI Maho, piano



後援 ■ 信濃町教育委員会・信濃町公民館 協賛 ■ 野尻レイクサイドホテル

◆コンサート“湖畔でバッハ”(東京バッハ合唱団・第42回神山教会特別演奏会)

8月5日(土)、午後4時-5時30分(3時開場)

[会場] 野尻湖国際村 神山教会(オーデトリウム)(裏面地図)

- ・カンタータ第187番《待ち望む みな なれを》BWV 187
- ・ピアノ独奏《最愛の兄に寄せるカプリッチョ》BWV 992
- ・《ロ短調ミサ曲》BWV 232 より抜粋

[演奏] ソプラノ独唱: 二瓶舞子、バリトン独唱: 山本悠尋、ピアノ伴奏/独奏: 鈴木真帆
合唱: 東京バッハ合唱団、指揮/訳詞: 大村恵美子(東京バッハ合唱団主宰者)

[入場無料]

●クルマでのご来場について……夏季は神山国際村(NLA)への乗り入れが制限されています。乗用車・8台までに限り、特別に駐車スペースを確保しますので、事前に必ずご登録ください。なお、野尻方面からは、山側を迂回しての「一方通行」です。裏面の地図の「→」参照。駐車スペースのお申込み・お問い合わせは、8月2日までに合唱団事務局へ(下記)



▲NIHEI Maiko, soprano



▲OHMURA Emiko, conducting / translating

協力 ■ Nojiri Lake Association (NLA) 野尻湖協会

主催/申込み/問合せ ■ 東京バッハ合唱団 <http://bachchor-tokyo.jp/>

Tel : 03-3290-5731 (当日 090-3680-4871)、Fax : 03-3290-5732、Mail : office@bachchor-tokyo.jp

[出演者ご紹介]

■ヨハン・ゼバスティアン・バッハ（作曲家）Joh. Seb. BACH

アイゼナハ聖ゲオルク教会付属ラテン語学校（ほぼ200年前にルターも在籍）を10歳で（父の死により）中途退学後、オールドルフ高等学校（成績優秀）を経て15歳でリュネブルク聖ミカエル教会付属学校給費生。聖歌隊に所属して自活するも変声期を迎え進路に悩む。後ドイツ中部各地で音楽活動を開始、頭角を現す。38歳でライプツィヒの聖トーマス教会カントル職に就任、同地で歿（65歳。1685-1750）。東京バッハ合唱団に作品を提供しつつ今日に至る。

■二瓶舞子（ソプラノ）NIHEI Maiko

福島県出身。東京藝術大学音楽学部声楽科卒業。聖徳大学大学院音楽文化研究科博士前期課程修了。2008年、モーツァルト作曲オペラ「魔笛」パミーナ役でオペラデビュー。これまでに声楽を國分雅人、近藤伸政、湯川晃、島崎智子、高橋大海の各氏に師事。古楽アンサンブル Concerto Sotto l'Albero メンバー。宗教音楽曲の分野でも期待の新人。

■山本悠尋（バリトン）YAMAMOTO Yukihiro

東京芸術大学音楽学部声楽科卒業。同大学院音楽研究科独唱専攻を首席にて修了。修了時に大学院アカンサス音楽賞、武藤舞賞を受賞。モーツァルト「レクイエム」、バッハ「ヨハネ」「マタイ」両受難曲のほか、「第九」「メサイア」等でソリストを務める。東京バッハ合唱団とは2014年の第111回に初出演以来つづけて協演、発声指導にも携わっている。昨年の野尻湖2016においてもワークショップの指導、神山教会でのコンサートと大活躍をされ、好評を博す。バッハ・コレギウム・ジャパンなどで活躍中。

■鈴木真帆（ピアニスト）SUZUKI Maho

洗足学園高等学校音楽科・同音楽大学卒業。第27回ピティナピアノコンペティションデュオ地区本選優秀賞。大学在学中、石川・武石賞受賞。洗足学園音楽大学管弦楽団とピアノ協奏曲を共演。NHK交響楽団友オーケストラと共演。東京国際フォーラム「のだめカンタービレ杯ピアノ部門」最終審査会出場。第10回ショパン国際ピアノコンクール in Asiaにおいて神奈川地区大会金賞、全国大会銅賞受賞。ピアノ教師のかたわらソロ活動でも活躍中。東京バッハ合唱団伴奏ピアニスト。

■東京バッハ合唱団 BACH-CHOR, TOKYO

教会カンタータを中心にバッハの作品のみを演奏し、研究する団体として1962年大村恵美子の呼びかけで組織された。都内での定期演奏会や各地の教会等での200回を超える公演を、1975年までは主に小林道夫氏、その後は大村恵美子の指揮で行っている。国内では日本語上演を原則とする。ライプツィヒ聖トーマス教会（1983年、日本の合唱団初）などドイツを中心に海外巡演も5回を数える。2016年4月、長年のバッハ演奏活動に対し、第22回エキュメニカル功労賞を受賞。

■大村恵美子（主宰/訳詞/指揮）OHMURA Emiko

東京芸術大学楽理科・作曲科卒業後、ストラズブル大学と音楽院に留学。在学中よりバッハのカンタータ演奏を志し、1962年帰国とともに合唱団設立、2012年に50周年を迎えた。バッハ宗教合唱作品のほぼ全曲の上演用訳詞を完成、多くは自らの指揮で上演。著書・訳書多数。現在、日本語版バッハ・カンタータ楽譜全集刊行中（既刊69曲）。



◆国際村 神山教会
 (NLA オーディトリウム)
 [所在地] 〒389-1304 長野県上水内郡信濃町神山国際村オーディトリウム
 [現地でのご連絡] 090-3680-4871

クルマでのご来場について
 夏季は神山国際村 (NLA) への乗り入れが制限されています。乗用車・8台までに限り、特別に駐車スペースを確保しますので、事前にご登録ください。なお「野尻」方面からは、山側を迂回しての一方通行です (左地図「→」)。駐車スペースのお申込み・お問い合わせは、8月2日までに合唱団事務局へ (表面ご参照ください)。